

令和5年度障がい者(児) 歯科診療対応力強化研修会

# Smile for All : 行動調整法と選択基準

— 公平な歯科医療資源の提供を目指して —

講  
師

広島大学大学院医系科学研究科  
口腔健康発育歯科 障害者歯科学 教授  
広島大学病院 障害者歯科 教授・科長

**岡田 芳幸** 先生



ライブ試聴申込はこちらから→

令和6年 **2月29日**(木) 19:00～  
徳島県歯科医師会館及びWEB配信「Zoom」  
ハイブリッド形式

# Smile for All : 行動調整法と選択基準 - 公平な歯科医療資源の提供を目指して -

## 抄録

近年の目覚ましい医療進歩により、障害児(者)の出生時生存率が向上し、寿命も延伸しています。しかしながら、その一方で障害者の数が急増し、これに伴う障害の重症化と高齢化が進んでいます。そのため、障害者歯科の臨床現場では量的および質的な負担が増大し、一次医療から三次医療にわたる管理体制の拡充が求められています。

スペシャルニーズのある患者は歯科治療に対する適応が困難なことがあり、歯科医療サービスの提供には行動変容法から鎮静法、全身麻酔までさまざまな行動調整法が必要となります。したがって、障害者を支える地域医療を実現するためには、各患者に適した行動調整方法の選択とこれを基本とした一次医療機関から三次医療機関のシームレスな連携が不可欠です。

そこで、本研修会では行動調整法の種類、それぞれの適応と実施方法、さらに選択基準について詳しくお話しさせていただきます。また、スペシャルニーズのある患者がお住いの地域で一次医療機関の受け入れが不足した場合、歯科医療サービス提供困難な潜在患者を生む原因となり兼ねません。この問題に対処するために、地域特性を考慮した最適な連携システムの構築に向けた考察を共有したいと思います。

この機会が、スペシャルニーズのある患者もない患者も公平に歯科医療資源が提供され、安心して暮らせる地域の実現に向けた一歩となれば幸いに思います。

Memo

---

---

---

---

---

---

---

---

講師

# 岡田 芳幸 先生

広島大学大学院 医系科学研究科 口腔健康発育歯科 障害者歯科学  
広島大学病院 障害者歯科



略歴

- 1999年 北海道大学歯学部 卒業
- 2009年 信州大学大学院 医系科学研究科（加齢適応医科学）修了 博士（医学）
- 2010年 Division of Cardiology, University of Texas Southwestern Medical Center 博士研究員
- 2010年 Autonomic Function Laboratory, Texas Health Presbyterian Hospital 博士研究員
- 2013年 松本歯科大学障害者歯科学講座 講師
- 2015年 同講座 准教授
- 2015年 松本歯科大学大学院顎口腔機能学分野 准教授
- 2018年 広島大学病院 障害者歯科 教授（～現在）
- 2018年 広島大学大学院 医系科学研究科 口腔健康発育歯科 障害者歯科学 教授（～現在）
- 2020年 広島大学病院 病院長補佐
- 2022年 広島大学大学院 医系科学研究科 研究科長補佐（～現在）

主な所属学会

- 日本障害者歯科医学会 理事 指導医・専門医・認定医 / 編集委員会（委員長）・教育検討委員会（副委員長）・専門医委員会・研究活動委員会・研修委員会・倫理審査委員会・利益相反委員会
- 日本有病者歯科医療学会 代議員 指導医・専門医・認定医
- 日本老年歯科医学会 代議員 認定医
- 日本スポーツ歯科学会 理事 専門医・認定医 / 編集委員会

主な著書

- 「スペシャルニーズデンティストリー障害者歯科」第2版 / 医歯薬出版 2017年2月
- 「よくわかる高齢者歯科学」 / 永末書店 2018年1月
- 「有病者歯科学」 / 永末書店 2018年2月
- 「障害者の歯科治療 臨床編」 / 永末書店 2018年9月
- 「疾患別にみる歯科治療時の注意点 -循環器疾患-」 / クインテッセンス 2019年7-12月
- 「チャイルドヘルス スペシャルニーズのある子どもの歯科診療」 / 診断と治療社 2019年11月
- 「歯科衛生士講座 障害者歯科学」第3版 / 永末書店 2021年2月
- 「あなたの歯科医院に障害のある患者さんが来院したら？ 歯科衛生士のための障害者歯科入門」  
医歯薬出版 2023年5月
- 「統合失調症の患者さんの対応」デンタルハイジーン5月号（企画） / 医歯薬出版 2024年5月